

2021年 10 月 26 日

三鷹市議会議長 土屋けんいち様

議員行政視察に係る結果報告書

会派名 いのちが大事 代表者名 野村 羊子

1 視察年月日	2021年10月15日(金) 午前10時30分～正午
2 視察者氏名	<u>野村羊子</u> 計 <u>1</u> 人 (他市同行議員5名)
3 視察先	神奈川 都・道・府・ <u>県</u> 川崎 <u>市</u> ・町・村
4 視察項目	(1) 川崎市子ども夢パーク;川崎市子どもの権利に関する条例に基づく施設の視察
5 視察結果等	<p>川崎市子ども夢パークアドバイザー(前所長)・フリースペースえん代表(NPO法人フリースペースたまりば理事長)の西野博之さんから、川崎市子どもの権利に関する条例策定過程から、子ども夢パークの沿革、現在の活動状況等を伺い、子ども夢パーク内をご案内いただいた。</p> <p>川崎市は「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」をもとに条例策定した。子ども夢パークは、条例第27条を根拠に、条例を具現化する施設として建設。工場跡地に土を入れ、木を植え、子どもたちとワークショップをしながらみんなで作ってきた。乳幼児親子の部屋、バスケットボールが可能な全天候型広場、音楽スタジオ、「ごろり」「ゆるり」の部屋にテラス席等がある。庭には小山があり、井戸がある。自由に水も火も使える。子どもたちは泥だらけになり遊ぶ。常に変化する施設で、今年はようやくシャワールームが設置される予定。</p> <p>併設のフリースペースえんは、不登校・引きこもりの子ども若者を受け入れる公設民営の施設。どこでも学べる環境を用意する。今、小学生で不登校が増えている。障害者手帳を持つ子も増えている。「困っている子」に「適応できない学校教育」の課題があるとみている。「遊ぶ、学ぶ、ケアする輪の中で子どもが育つ」を提案している。</p> <p>子ども自身を子ども支援の根幹に据える姿勢を学び、市の施策に活かしていきたいと思う。</p>



川崎子ども夢パークマップ及び視察当日の写真

